



株主通信

第71期中間事業報告書

平成27年1月1日～平成27年6月30日

株式会社 千趣会

証券コード:8165

株主の皆様へ

ウーマン スマイル カンパニー

senshukai

これからも ずっと笑顔に



代表取締役 社長
田邊 道夫

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営方針	4
当社グループの経営成績	6
連結財務ハイライト	10
当社グループのトピックス／CSRへの取り組み	14
CHANNEL	16
株主優待制度について	17
株式の状況・会社概要	18

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成27年6月30日をもちまして、第71期(平成27年1月1日から平成27年12月31日まで)の第2四半期決算を行いましたので、ここに経営成績とともに事業の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、千趣会の原点でありDNAでもある「Innovation (イノベーション)」を見つめ直し、平成30年12月期(第74期)を最終年度とする「中長期経営計画」(Innovate for Smiles 2018)を推進し、さらなる成長と強固な収益基盤の構築により企業価値の向上を図ってまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※この「株主通信」における第2四半期とは、1月1日から6月30日までの累計期間を表しています。

創立60周年の節目に さらなる成長を目指して。

当社は今年創立60周年を迎えます。その節目の年にさらなる成長を目指して、J.フロントリテイリング株式会社（以下 JFR）と資本業務提携をいたしました。当社の通信販売・商品開発力、JFRの大丸・松坂屋などの店舗販売・運営力、それぞれの強みを活かした相互補完により、効率的な事業展開及びシェア拡大を進めてまいります。具体的には、両社のPB商品の共同開発による販路拡大及び商品原価低減、お互いの商品をお互いの顧客に向けてのクロス販売など両社の資産やノウハウを最大限に活用してまいります。伝統とブランド力を有するJFRとの業務提携は、当社の独自性を保ちつつ、ブランド力・収益力の向上につながるものと確信しております。

創立60周年を迎え、新たな千趣会のイノベーションをJFRとのパートナーシップにより一層加速させていきます。これからの千趣会にどうぞご期待ください。

代表取締役 社長

田邊道夫



経営方針

経営の基本方針

当社グループは、「良い商品」「良いサービス」をお客様に提供することを通じて、社会に貢献することを基本理念としております。また、株主・顧客・取引先の皆様及び従業員など、すべてのステークホルダーと共存共栄を図り、企業価値を高めることを行動の指針としております。

利益配分に関する基本方針

当社グループは、経営基盤の強化を図るとともに、株主各位に対しましては、連結配当性向30%を目安として安定的な配当の維持及び業績に応じた適正な利益還元を基本としております。内部留保金につきましては、中長期的な視野に立った新規事業の開発や既存事業の効率化推進のための投資及びグループ事業の拡充に向けたM&A（企業合併・買収）投資や、財務体質の健全化等に活用し、企業競争力と企業体質のさらなる強化に取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針

当社グループは、企業活動において株主、顧客、取引先、従業員、地域社会といった様々なステークホルダーへの社会的責任を果たすために、「コーポレート・ガバナンス（企業統治）」を必要不可欠なものと認識し、透明性の高い経営システムの構築を図り、有効に機能させることが重要であると考えており、内部統制システムの構築などを通じて、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

中長期経営計画（平成26年1月1日～

innovate

for Smiles 2018

1. 通信販売事業

● 顧客戦略

現在の主要顧客層となっている30代から40代の「妊娠・出産・子育て世代」に加え、働く女性をターゲットにした「キャリア世代」と今後成長が見込まれる「アクティブな50代」に対してアプローチし、顧客を拡大してまいります。

● 商品戦略

モール型大手EC企業と差別化していくために、当社独自の「自社オリジナル商品ブランド」の開発を強化いたします。また、企画・製造から小売まで自社でコントロールする「SPA（製造小売）型商品」の強化・拡大により、収益性の向上を図ってまいります。

● 販売チャネル戦略

これまでのカタログを起点としたチャネルミックス戦略から「自社オリジナル商品ブランド」等の商品を起点としたオムニチャネル戦略へと転換し、モバイルやPC及び店舗を含めたあらゆるチャネルを通じてお客様にファンになっていただく仕組みを構築してまいります。

● フルフィルメント戦略

ITシステム関連及び物流関連への積極的な投資により、お客様の利便性を高めるとともに業務コストの効率化を進めます。また、お客様の個別のニーズや商品の特性に応じた「顧客対応」を強化してまいります。

平成30年12月31日)の取り組み状況

当社グループは、平成26年度より始まり平成30年度を最終年度とする中長期経営計画「Innovate for Smiles 2018」の中で、今後も成長が期待される通販市場において独自性のある確固たるポジションを築き上げるとともに、企業ビジョン「ウーマン スマイル カンパニー」にふさわしい新規事業を積極的に展開してまいります。

当第2四半期における取り組み状況

30代から50代の女性を中心に顧客ターゲットごとに最適なPB（プライベートブランド）展開を継続しております。3月には、主に働く女性から支持を得ているシューズPB「ベネビス」のPRイベントを実施いたしました。

これまでの当社販売チャネル内でのPR活動に加えて、新しい顧客獲得とブランディング強化を目的に、戦略的なPR活動を拡大しております。また、PB及びNB（ナショナルブランド）の販売拡大に向けてオムニチャネル化を推進しております。今後、店舗での販売を広げながら、通販（EC・カタログ）をシームレスにつなげることで売上拡大と収益性の改善を行います。

下期にはファッションからインテリアまで展開するライフスタイル型ブランド「ベルメゾンデイズ」のデビューを予定しております。そのために、新たにSPAブランド事業本部を立ち上げて、ベルメゾン事業の基幹ブランドとして育成してまいります。

さらに、お客様が安心してご利用頂ける通信販売事業を進化させるためにフルフィルメント機能を強化しております。中部地区での物流再編に向けて美濃加茂DC（ディストリビューションセンター）の稼働準備を進めております。

今後は、J.フロントリテイリング（株）との提携を基軸としながら、中長期経営計画の達成を目指してまいります。

2. ブライダル事業

ハウスウエディングを中心とするブライダル事業を行う（株）ディアーズ・ブレインを通じた結婚式場への投資を継続し、都市型・郊外型を組み合わせた新規出店・改装により、売上を拡大してまいります。また同時にプロモーションの見直しや商品原価の改善などを行い、収益性の向上を目指してまいります。

当第2四半期における取り組み状況

都市型・郊外型を組み合わせた新規出店・改装の継続で売上を拡大していく一方で、3月にゲストハウスウエディング事業等を手掛ける（株）プラネットワークを子会社化いたしました。3月には新潟、7月には奈良に新規出店いたしました。

3. 法人事業

EC市場の拡大に伴う通販関連の「受託業務」を中心に今後も事業拡大を行ってまいります。また物販業務や広告業務は、専門性を高めることで収益性の向上を目指してまいります。

当第2四半期における取り組み状況

引き続き、通販EC市場の拡大に合わせて、BtoC参入希望の法人顧客に向けた物流受託ビジネスの展開を強化しております。

4. 新規事業

当社の基幹事業である通信販売事業とのシナジーが見込まれる事業を中心に、積極的に新規事業を展開してまいります。中でも主要顧客である子育て世代との親和性が高い「保育関連事業」については特に注力してまいります。

当第2四半期における取り組み状況

保育事業では4月に東京都大田区で2園を新たに開園し、今後も2018年度までに10園の運営に向けて注力してまいります。

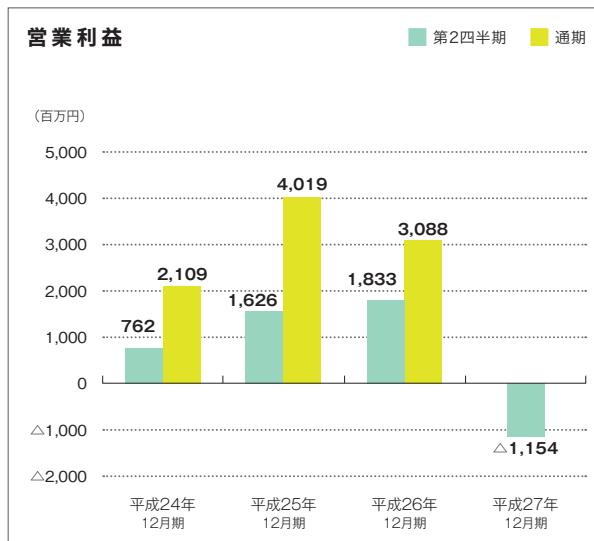
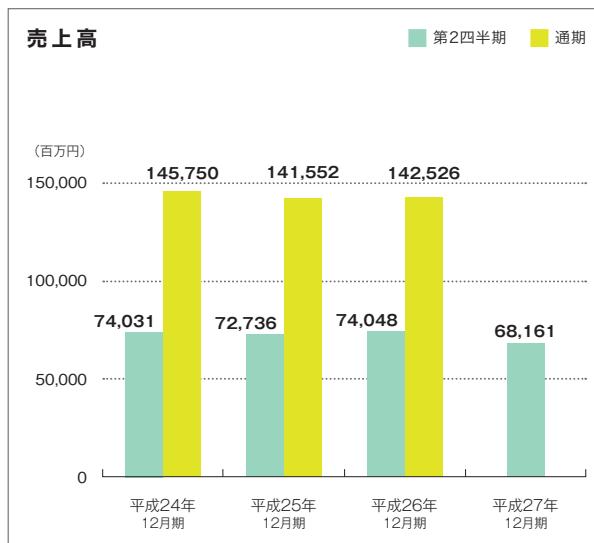
当社グループの経営成績

1

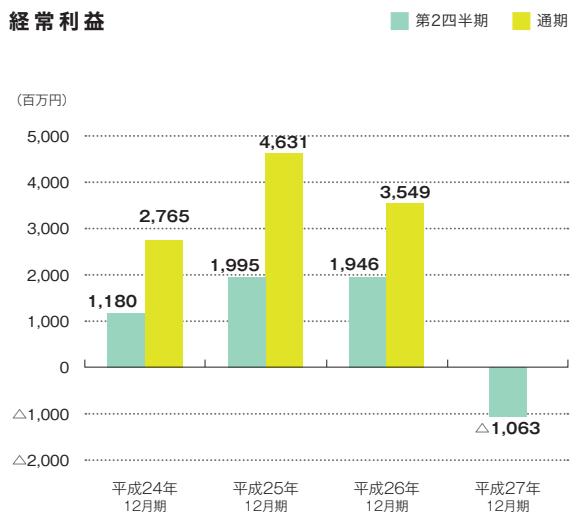
当期の概況

当第2四半期(平成27年1月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、政府・日本銀行による経済政策や金融緩和政策により、企業収益や雇用環境の改善傾向が続き、全体としては緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で個人消費につきましては、物価上昇に賃金の上昇が追いつかず、消費者の生活防衛意識は高まりを見せており、依然として先行き不透明な状況が続いております。このような経営環境のなか、当社グループは平成30年度を最終年度とする中長期経営計画『Innovate for Smiles 2018』の2年目として、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。

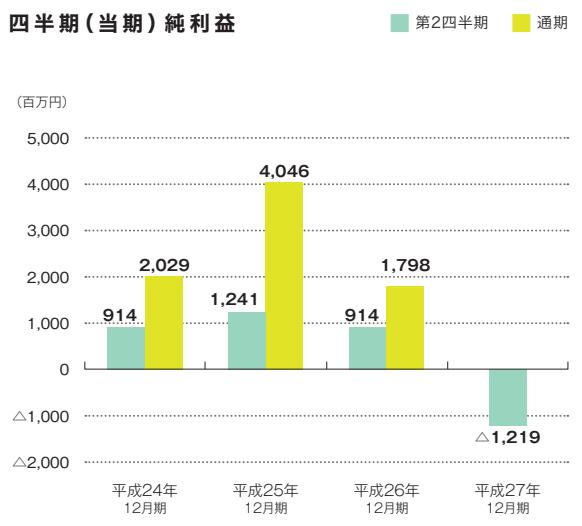
以上の結果、当第2四半期の売上高は主軸となる通信販売事業が昨年4月からの消費増税反動減の長期化、及び販促施策変更による受注金額の減少により681億61百万円(前年同期比7.9%減)となりました。利益面に関しましては、円安による商品原価の増加と売上不振に伴うセール販売比率の上昇及び処分販売等の増加による売上原価率の上昇のため、営業損失は11億54百万円(前年同期は18億33百万円の営業利益)となりました。経常損失は10億63百万円(前年同期は19億46百万円の経常利益)、また四半期純損失は繰延税金資産の回収可能性を検討し、12億19百万円(前年同期は9億14百万円の四半期純利益)となりました。



経常利益



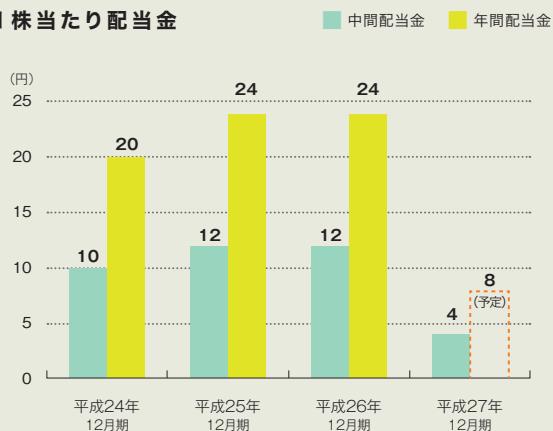
四半期(当期)純利益



1株当たり配当金

株主の皆様への利益配分につきましては、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び業績に応じた適正な利益還元を基本としています。平成27年12月期の配当につきましては、前回発表予想(平成27年2月5日発表)では、中間期及び期末ともに8円としておりましたが、当第2四半期の業績及び通期連結業績予想を修正する状況等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、当中間期につきましては1株当たり4円の間配当とさせていただきます。また、期末配当につきましても4円とさせていただき、年間8円を予定しております。継続的な利益還元のため、これからも企業価値の向上及び収益体質改善に向け、さらなる経営努力を重ねてまいります。

1株当たり配当金



当社グループの経営成績

2

事業別概要

〔通信販売事業〕

基幹ビジネスである通信販売事業の当第2四半期の売上高は昨年4月からの消費増税反動減の長期化、及び販促施策変更による受注金額の減少により590億33百万円(前年同期比10.6%減)となりました。利益面に関しましては、円安による商品原価の増加と売上不振に伴うセール販売比率の上昇及び処分販売等の増加による売上原価率の上昇により、営業損失は14億34百万円(前年同期は14億64百万円の営業利益)となりました。

〔ブライダル事業〕

ハウスウエディングを中心とするブライダル事業の当第2四半期の売上高は、3月にゲストハウスウエディング事業等を手掛ける株式会社プラネットワークを子会社化したこともあり、66億85百万円(前年同期比13.5%増)となりました。営業利益は89百万円(前年同期比48.2%減)となりました。

ベルメゾンヒット商品 (2015年 上期受注金額上位商品)



フレンチリネンワンピース

さらりとした涼感のあるフレンチリネン100%のワンピース。着るたびに風合いが増し、肌に馴染む上質なフレンチリネンは夏に最適です。透けにくい身生地と同色のベチコート付き。



今治産5重ガーゼケット

今治でも希少な重ね織りで空気を繊細に含ませふっくら軽く仕上げた5重ガーゼケット。優れた吸放湿性と生地の中の空気層が、季節に合わせてほどよく快適な温度を保ちます。



KOTOWA 奈良公園 Premium View (奈良県 奈良市)

「新しく、美しい日本の結婚式」をコンセプトに日本の歴史と自然の息づく名所、奈良公園に誕生しました。四季の移り変わりとともに表情を変える猿沢池ごしに、興福寺五重塔を望む絶好のロケーションで、奈良ならではの結婚式を提案します。

3

通期の見通し

〔法人事業〕

法人向けの商品・サービスを提供する法人事業の当第2四半期の売上高は、20億78百万円(前年同期比10.8%増)となりました。営業利益は1億88百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

〔その他〕

保険・クレジットなどを主とするサービス事業と保育事業などを行うその他の事業の当第2四半期の売上高は、3億64百万円(前年同期比51.9%増)となりました。また営業損失は4百万円(前年同期は16百万円の営業利益)となりました。

えがおの森保育園

働く女性にとって深刻な社会問題に微力ながら寄与したいという思いから2014年に保育所運営事業に参入。千葉県佐倉市、東京都大田区上池台にて保育園を運営しています。2015年4月には新たに大田区の京急蒲田駅前、JR大森駅前にそれぞれ60名規模の認可保育園を開園いたしました。「笑顔でつなぐ。ママと子どもと、地域と未来。」をコンセプトに、今後も積極的に待機児童解消に取り組んでいきます。



えがおの森保育園・おおもり駅前(東京都 大田区)

保険ショップ「ベルメゾン ほけんはっけん!」(東京都 中央区)



女性が安心して保険の相談ができる場所として、東京 銀座の保険ショップ「ベルメゾン ほけんはっけん!」では、保険はもちろんマネー相談など、女性ひとり一人のライフプランに合った提案を行っています。

通期の見通しにつきましては、売上高は第2四半期までの売上減少及び今後の不透明な個人消費動向などを勘案し、1,355億円となる見込みです。

利益面につきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少や売上不振に伴うセール販売比率の上昇と、処分販売等の増加見込みにより、営業損失が増加する見込みであります。そのため、通期におきましては、営業損失は34億円、経常損失は31億50百万円、当期純損失は繰延税金資産の回収可能性の不確実性も見込み44億円となる見通しです。

なお、平成27年7月24日付「ワタベウェディング株式会社株式(証券コード:4696)に対する公開買付けの開始、第三者割当増資の引受け、並びに当社及びその完全子会社である株式会社ディアーズ・ブレインとの資本業務提携契約の締結に関するお知らせ」を公表いたしました。通期に与える影響は現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

連結財務ハイライト

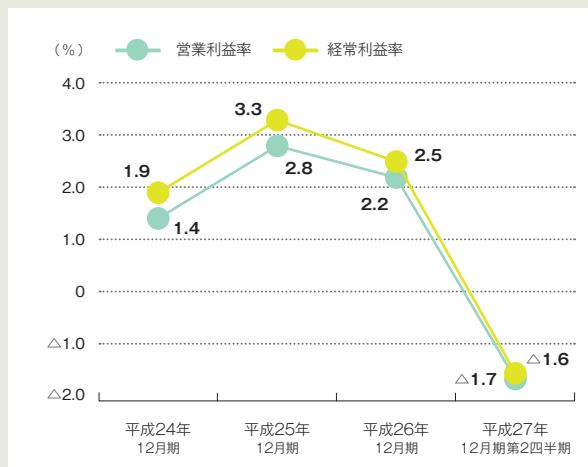
senshukai

当第2四半期及び3期分の 連結要約財務データ

単位:百万円(単位未満切捨て)

	平成24年12月期	平成25年12月期	平成26年12月期	平成27年12月期 第2四半期
売上高	145,750	141,552	142,526	68,161
営業利益 (△は損失)	2,109	4,019	3,088	△1,154
経常利益 (△は損失)	2,765	4,631	3,549	△1,063
四半期 (当期)純利益 (△は損失)	2,029	4,046	1,798	△1,219
設備投資額	4,602	4,227	3,045	2,378
減価償却費	2,733	2,618	2,675	1,400
総資産	92,887	98,800	100,785	108,055
純資産	44,932	50,359	53,160	59,577
有利子負債	13,881	14,504	15,777	19,550
一株当たり四半期 (当期)純利益 (単位:円)	46.86	93.43	41.52	△26.50
一株当たり純資産 (単位:円)	1,037.48	1,162.81	1,227.52	1,140.49
自己資本比率 (単位:%)	48.4	51.0	52.7	55.1

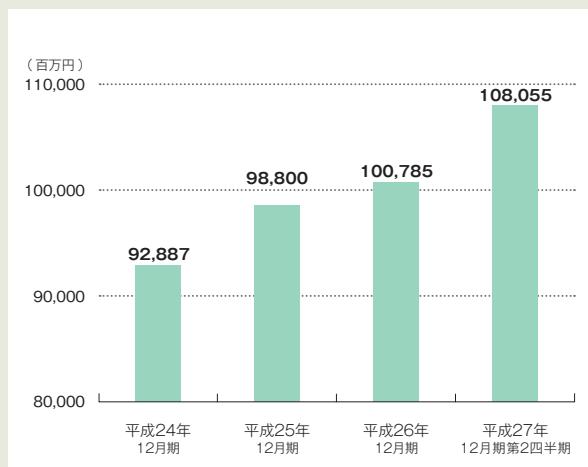
■ 営業利益率 / 経常利益率



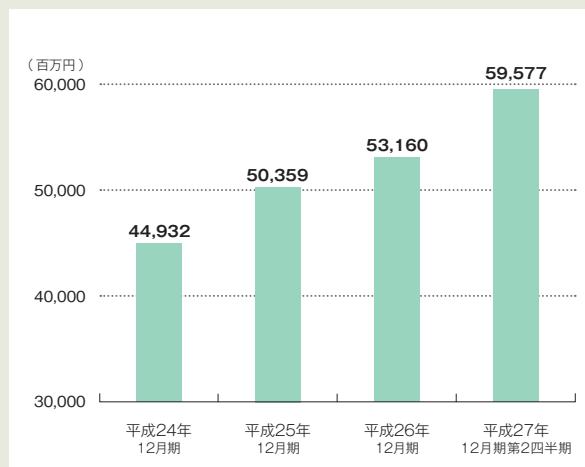
■ 1株当たり純資産



■ 総資産



■ 純資産



連結財務ハイライト

四半期連結財務諸表

流動資産

前期末に比べて、受取手形及び売掛金が24億35百万円、商品及び製品が17億12百万円、未収入金が16億48百万円、その他が12億49百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が116億98百万円増加しました。

固定資産

前期末に比べて、無形固定資産が31百万円減少した一方で、有形固定資産が16億38百万円、投資その他の資産が9億44百万円それぞれ増加しました。

流動負債

前期末に比べて、電子記録債務が3億28百万円増加した一方で、その他が23億69百万円、未払法人税等が7億46百万円、買掛金が3億27百万円それぞれ減少しました。

固定負債

前期末に比べて、社債が4億50百万円減少した一方で、長期借入金が43億42百万円増加しました。

純資産合計

前期末に比べて64億16百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が16億60百万円減少した一方で、第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分により、資本金が19億45百万円、資本剰余金が28億21百万円それぞれ増加し、自己株式が27億62百万円減少したことです。この結果、自己資本比率は55.1%となりました。

四半期連結貸借対照表

単位:百万円(単位未満切捨て)

科目	前第2四半期末 平成26年6月30日現在	当第2四半期末 平成27年6月30日現在	前期末 平成26年12月31日現在
■ 資産の部			
流動資産	50,186	58,273	53,554
固定資産	48,317	49,782	47,231
有形固定資産	29,066	30,714	29,075
無形固定資産	5,589	5,349	5,380
投資その他の資産	13,661	13,718	12,774
資産合計	98,504	108,055	100,785
■ 負債の部			
流動負債	33,276	30,449	33,470
固定負債	15,409	18,027	14,153
負債合計	48,685	48,477	47,624
■ 純資産の部			
株主資本	55,341	61,576	55,707
資本金	20,359	22,304	20,359
資本剰余金	21,038	23,860	21,038
利益剰余金	16,719	15,426	17,086
自己株式	△ 2,776	△ 14	△ 2,776
その他の包括利益累計額	△ 5,522	△ 2,033	△ 2,546
少数株主持分	—	35	—
純資産合計	49,818	59,577	53,160
負債純資産合計	98,504	108,055	100,785

売上高

通信販売事業で590億33百万円、プライダ
ル事業で66億85百万円、法人事業で20
億78百万円、その他で3億64百万円となり
ました。

営業損失

円安による商品原価の増加と売上不振に伴う
セール販売比率の上昇及び処分販売等の増加
による売上原価率の上昇のため、営業損失は
11億54百万円となりました。

四半期連結損益計算書

単位:百万円(単位未満切捨て)

科目	前第2四半期累計 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	当第2四半期累計 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	74,048	68,161	142,526
売上原価	39,082	36,451	75,038
売上総利益	34,966	31,710	67,488
販売費及び一般管理費	33,132	32,864	64,399
営業利益(△は損失)	1,833	△1,154	3,088
営業外収益	300	465	778
営業外費用	186	374	317
経常利益(△は損失)	1,946	△1,063	3,549
特別利益	0	167	89
特別損失	231	266	646
税金等調整前四半期(当期)純利益(△は損失)	1,716	△1,162	2,992
法人税等	801	74	1,193
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益(△は損失)	915	△1,236	1,798
少数株主利益(△は損失)	0	△17	0
四半期(当期)純利益(△は損失)	914	△1,219	1,798

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円(単位未満切捨て)

科目	前第2四半期累計 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで	当第2四半期累計 平成27年1月1日から 平成27年6月30日まで	前期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,514	3,141	2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,290	△3,653	△1,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,122	10,844	△91
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	66	33
現金及び現金同等物の増減額	4,333	10,398	1,124
現金及び現金同等物の期首残高	6,495	7,910	6,495
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	290	—	290
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	11,118	18,309	7,910

当社グループのトピックス

株式会社プラネットワークの子会社化

3月31日、大阪ガス株式会社の100%子会社である株式会社オージーキャピタルから、株式会社プラネットワーク(以下プラネットワーク)の全株式を取得しました。プラネットワークは、ゲストハウスウエディング事業等を手掛け、大阪府吹田市の『Mia Via(ミア ヴィア)』、同万博記念公園内の『迎賓館』という二つの施設を運営しています。今回、プラネットワークを子会社化することにより、当社ブライダル事業の全国展開において手薄となっていた関西地域におけるプレゼンスを高め、今後の同事業の成長戦略における重要な拠点になると位置づけています。



『rirne (リルネ)』、『Vialamo (ヴィアラモ)』誕生!



rirne(リルネ)



Vialamo(ヴィアラモ)

30代の女性向けファッションカタログ「rirne (リルネ)」を2月17日に創刊し、同時にネットショップをオープンしました。「リルネ」は、“ネットでひろがる。おしゃれを彩る。30歳からの最旬SHOP”をコンセプトに、30歳からの新スタンダードファッションを提案します。また、3月26日には50代向けのファッションカタログ「Vialamo (ヴィアラモ)」を創刊しました。人気の黒田知永子さんがプロデュースするベルメゾン・オリジナルブランド「Kcarat (Kカラット)」を中心に、ほどよくシンプルで、ほどよく今風なおしゃれを楽しむことのできる上質な大人服が充実しています。

CSRへの取り組み

お客様からの募金をもとに社会貢献活動を行う「えがおの森」

環境活動

えがおの森 グリーンプロジェクト「ハハトコのグリーンパワー教室」を実施中

経済産業省・資源エネルギー庁の「GREEN POWERプロジェクト」を応援し、ダイヤモンド社と共同で昨年より再生可能エネルギーに関する出張授業を開始しました。今年3月までの第一期・第二期で全国の小学校10校で実施。お母さんと子どもたちにエネルギーについて考えていただく機会を提供しました。子供たちにも好評の出張授業は引き続き実施の予定です。 <http://www.egaono-mori.jp/green/class/>



千趣会と選手会の新たな取り組み

4月29日より、千趣会と同じ「せんしゅかい」の読み方を持つ一般社団法人プロ野球選手会とタッグを組んで“ウーマン スマイル センシュカイ”を標榜、女性を笑顔にする施策を開始しました。主な取り組みとして、千趣会が冠スポンサーを務めるNPO法人全国学童野球振興協会「学童軟式野球全国大会ポップアスリートカップ」の本年度の開会式(全国7カ所)において、キャッチボールの正確さとスピードを競うゲーム“キャッチボールクラシック”の、千趣会×選手会杯を開催しました。



ベネビス、新商品発表会を開催

3月24日、東京丸の内オアゾ00広場(おおひろば)にて、千趣会のオリジナルシューズブランド「benebis(ベネビス)」のメディア向け新商品発表会を行いました。商品担当者によるコンフォートパンプスのプレゼンテーションの他、元「モーニング娘。」のタレント吉澤ひとみさん、人気読者モデルの斎藤寛子さんをゲストに招いてのトークセッションも開催しました。また、24日、25日の両日、同会場にて一般の方向けに「春夏パンプス体験会」を開催し、約800名の方にご来場いただきました。



東北復興支援

えがおの森 東北ハハトコかけはしプロジェクト「いしのまき 子そだてフェスタ2015」に出展

震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市を中心に活動する子育て支援団体、「NPO法人ベビースマイル石巻」様とのお付き合いも3年目を迎えました。地元行政や各種団体とも連携し、精力的に活動するこの団体への寄付も含めた支援を強化しています。6月7日には昨年に引き続き石巻で開催の子育てイベントへ協力し、「プロカメラマンによる家族写真館」を出展。137組、369名の笑顔を撮影しました。 <http://www.egaono-mori.jp/hahatoko/>



CHANNEL

BELLE MAISON

いつでも、どこでも、ベルメゾン。

旬の商品情報をいち早く発信するインターネットサイト、雑誌を見るように楽しめる様々なジャンルの専門カタログ、暮らしづくりを身近に提案するあなたの街のライフスタイルショップなど。毎日の暮らしに多彩なしあわせをお届けする、ベルメゾンのチャンネル展開。



ファッションからインテリア、食品まで、常時3万点以上の品揃え。シーズン特集や専門ショップなどネットだけの商品も充実の総合ショッピングサイトです。

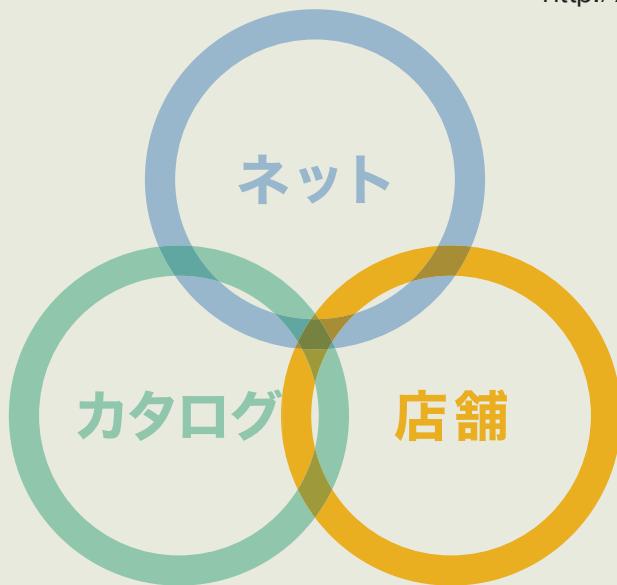
〈ベルメゾン ネット〉

<http://www.bellemaison.jp>



季節にあわせたさまざまな種類のカatalogを展開。多彩なジャンルのオリジナル商品を中心に多数掲載しています。

〈ベルメゾン カタログ〉



全国に15店舗を展開。お客様と直接コミュニケーションできる場を活かして、通信販売事業との様々な相乗効果を目指しています。

〈ベルメゾン 店舗〉

<http://www.bellemaison.jp/kurasu>



株主優待制度について



ベルメゾンお買い物券

株主優待制度 1 株主優待(年2回)

100株以上所有の株主様に年2回、お買い物券を進呈致します。

対象株主様

毎年6月30日及び12月31日現在の当社株主名簿に記録された100株以上所有の株主様

優待内容

所有株数に応じたお買い物券を進呈(年2回)

所有株数	お買い物券
100～299株	1,000円
300～499株	2,000円
500～999株	4,000円
1,000株以上	5,000円

お買い物券の発送日

- 6月30日現在の株主様……8月発送予定
- 12月31日現在の株主様……翌年3月発送予定

株主優待制度 2 長期保有株主優待(年1回)

1年以上・100株以上保有の株主様に年1回、お買い物券を進呈致します。

対象株主様

毎年12月31日現在の当社株主名簿に記録された1年以上・100株以上保有の株主様

優待内容

保有株数と保有年数に応じたお買い物券を進呈(年1回)

保有株数	保有年数/お買い物券		
	1年以上	2年以上	3年以上
100～299株	500円	1,000円	1,500円
300～499株	1,000円	1,500円	2,000円
500～999株	1,500円	2,000円	3,000円
1,000株以上	2,000円	3,000円	4,000円

※上記に応じて、株主優待に加算した額のお買い物券をお届けします。

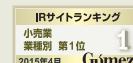
お買い物券の発送日

- 翌年3月発送予定

当社コーポレートサイトが「Gomez IRサイトランキング2015」において全上場企業で23位、小売業では1位を受賞

2015年6月、国内上場企業のIR(投資家向け広報)サイトの使いやすさや、情報の充実度を評価することを目的として実施される「Gomez IRサイトランキング2015」にて当社が全上場企業で23位、小売業で1位を獲得しました。今後も充実したわかりやすい情報発信を心掛けていきます。

<http://www.senshukai.co.jp/main/top/ir/index.html>



株式の状況・会社概要

● 株式の状況

(平成27年6月30日現在)

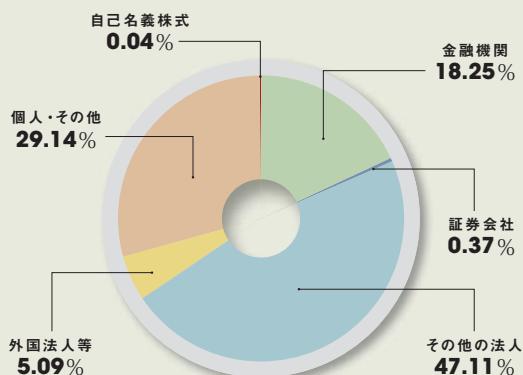
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	52,230,393株
株主数	27,983名

● 大株主の状況

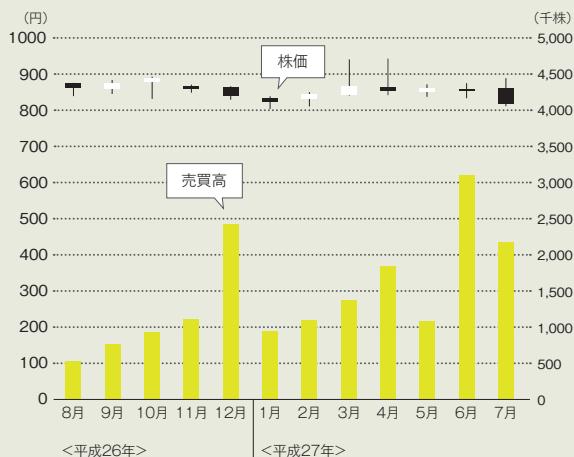
(平成27年6月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
1 J.フロントリテイリング 株式会社	11,815	22.62
2 株式会社 プレストシーブ	3,650	6.99
3 凸版印刷 株式会社	1,838	3.52
4 株式会社 三井住友銀行	1,665	3.19
5 大日本印刷 株式会社	1,511	2.89
6 株式会社 みずほ銀行	1,219	2.34
7 千趣会グループ従業員持株会	1,122	2.15
8 日本生命保険相互会社	790	1.51
9 株式会社 三菱東京UFJ銀行	752	1.44
10 三井住友信託銀行 株式会社	705	1.35

所有者別持株比率



株価/売買高推移



● 会社概要

(平成27年6月30日現在)

商号	株式会社 千趣会
英文名	SENSHUKAI CO.,LTD.
ホームページ	http://www.senshukai.co.jp
本社	大阪市北区同心一丁目8番9号
東京本社	東京都品川区北品川五丁目9番11号 大崎MTビル12・13階
設立	昭和30年11月
資本金	22,304,934,244円
従業員数	924名
連結従業員数	2,022名

● 関係会社

(平成27年7月1日現在)

主な連結子会社及び事業内容

(株)ディアーズ・ブレイン	本社 東京都港区 プライダル事業
(株)ベルネージュダイレクト*	本社 東京都千代田区 通信販売事業
(株)モバコレ	本社 東京都品川区 通信販売事業
(株)ベルメゾンロジスコ	本社 岐阜県可児市 物流システム業
千趣ロジスコ(株)	本社 兵庫県西宮市 物流システム業
千趣会コールセンター(株)	本社 大阪市北区 テレマーケティング業

※(株)主婦の友ダイレクトは平成27年7月1日に(株)ベルネージュダイレクトに社名変更いたしました。

● 役員

(平成27年6月30日現在)



代表取締役 社長
田邊 道夫



取締役 副社長
澤本 荘八



専務取締役(※)
朝田 郁



常務取締役(※)
星野 裕幸



常務取締役(※)
杉浦 恒一



取締役(※)
榎谷 一寿



取締役(※)
梶原 健司



取締役
大石 友子



取締役
佐野 利勝

監 査 役 中林 義博(常勤) 前田 政則(常勤)
小泉 英之 森本 宏

執 行 役 員 内藤 剛志 北原 義春 稲田 佳央
中山 茂 岡田 正幸 渡真利 千恵
石田 晃一 井阪 義昭

(注) 1. 取締役のうち大石友子、佐野利勝の両氏は社外取締役です。 2. 監査役のうち小泉英之、森本宏の両氏は社外監査役です。 3. (※)印の取締役は、執行役員を兼務しております。



ダイモナオさん：プロフィール

高知県生まれ。京都市在住のイラストレーター。



さまざまな雑誌、ポスターやWEBページのイラストなどを幅広く手掛ける。

- 2008年 イラストノート第8回・第9回「ノート展」入選
- 2010年「PONTOON」装画コンペvol.5 大賞を受賞
- 2012年 ザ・チョイス第184回(藤本やすしさん選) 準入選
- 2014年 ボロニャ国際絵本原画展 入賞 他

<http://www.daimon-nao.com>

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月開催
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日
 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年 6月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告により、ホームページ(<http://www.senshukai.co.jp/koukoku>)に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

今後の決算発表予定 第3四半期決算(平成27年1月1日～平成27年9月30日)
平成27年 10月30日(金)
平成27年度決算(平成27年1月1日～平成27年12月31日)
平成28年 2月4日(木)



壁画：「秋冬の花と動物たち」

(W7200×H2800mm) Design:ダイモナオ

新進女性クリエイターによる作品発表の場「クリエイターズ・ギャラリー」(本社1F) 第13回となる今回はダイモナオさんの作品です。

ダイモナオさんからのメッセージ(作品に込めた思い)

「秋冬に咲く花をモチーフに描かせて頂きました。秋冬の花は暖かい時期の花とは少し違って、落ち着いた雰囲気のものが多いですが、見ていると、ほっと優しい気持ちになれるような気がします。優しいイメージの動物たちと一緒に秋冬の優しい雰囲気を楽しんで頂けたらと思います。」

株式会社 千趣会

〒530-0035 大阪市北区同心一丁目8番9号
電話 (06) 6881-3100 <http://www.senshukai.co.jp>

